

校長室だより

(川内中学校／R6.8.14)

～ 学びあい・支えあい・笑顔で・未来に向かって挑戦！～

【Study Support Smile 3S チャレンジ！】

H20 「Homete (ほめて) ・ Hagemashi (励まし) ・ Otagaini (お互いに)」

【学校教育目標：一人ひとりを大切に 未来に向かって生き抜く力を身につけた生徒の育成】

川内中 3S チャレンジ！／ ～ 日本の伝統・文化を学ぶ 川内中生(民芸部・相撲部)の挑戦 ～

川中生「地域で学ぶ(地域は教育源)・地域を学ぶ(地域の教材活用)・地域の人から学ぶ(地域は先生)」！

【川内中・民芸部が阿波人形浄瑠璃大会出演】／ あわぎんホール(R6.7.21)

傾城阿波の鳴門「順礼歌の段」



川内中学校民芸部は 1982 年に創部され、今年で 43 年、部員 17 名(3 年 8 名・2 年 5 名・1 年 4 名)が、地元の伝統芸能を受け継ぎ、世界に誇れる人形浄瑠璃の魅力を伝えようと、あわぎんホールでの大舞台に挑戦しました。三味線の伴奏に合わせ、太夫が語り、それに合わせて生徒たちが人形を操ります。人形一体に、生徒 3 人の心が一つとなった時、人形に命(心)が宿ります。主遣い(人形の顔と右手を動かす)・足遣い(足を動かす)・左遣い(左手を動かす)が息を合わせ、人形に魂を注ぎ込む姿は本当に素晴らしい演技でした。一つ一つの動きは繊細で、頭の動き・足の運びや指先に感情が表れ、人間以上に心情あらわに表現される操りは、観客の涙をさそう感動の時間となりました。

川内中生 仲間と共に・人形と共に「一心同体」感動の演技

川内中・相撲部「全国都道府県中学生相撲選手権大会 / 両国国技館」 出場

～ 「相撲部屋」&相撲の聖地「両国国技館」に足を踏み入れた川内中・相撲部 ～



相撲部屋「藤島部屋」に宿泊



8月11日両国国技館(東京都)で開催された「全国都道府県中学生相撲選手権大会」に、川内中・相撲部の2名が出場しました。2人は県代表選手として堂々と入場し、力一杯闘いました。

大会前日は、相撲部屋「藤島部屋」に泊まり、相撲部屋の食事や生活・練習風景など力士たちと共に過ごし、貴重な経験をし、大会に臨みました。

相撲の起源は、古くは古事記や日本書紀のなかにある「力くらべ」の神話にはじまり、現代の大相撲場所に至るまで、様々な歴史を経ながら、まげにまわし姿・数々のしきたりや技が奥深く、日本の伝統文化という面が強く受け継がれているスポーツだと感じました。そして、そんな神聖なる土俵に立つ川内中・相撲部の挑戦は、頼もしく輝いていました。

日本の伝統スポーツ「相撲」／両国国技館



相撲の聖地／「両国国技館」で 堂々と闘う川内中生



体重差 1.5 倍以上もある相手に、堂々と立ち向かっていく勇ましい姿に感動しました。よく頑張った川内中生！